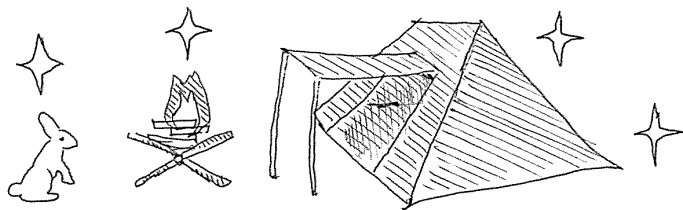


# ほろプラ新聞 vol.10

発行 幌加内町観光協会  
〒074-0411  
北海道雨竜郡幌加内町  
字幌加内交流プラザ内  
☎0165-35-2380



## アイヌ語から土地を知ろう

北海道の土地名の多くは、アイヌ語が語源になっています。

**ポンコタン...**

ポンカムイコタン  
小さな神の居る  
集落を表します

政和地区にポンコタン鉄橋があります

**ホロカ...**

逆戻り。流路の向きが  
変わることを意味しています

**ナイ...**

川や沢を表します

逆戻りする川

**母子里...**

島のある川

モシリウナイ川という川があります

# 幌加内

ポツ  
別...川  
ホロ...広い  
幌...島  
シリ...島

**朱鞠内...**

石の多い沢  
もしくは  
キツネの沢

キツネを「シュマリ」といいます

**雨煙別...**

悪川  
雨煙内も  
同じ意味

**早雲内...**

滝のある沢  
添牛内の語源

早雲内の滝があります

ちなみに

**札幌...**

乾く大きい川

コタン...集落  
ポン...小さい

氾濫しやすいからたのび  
しょうか?

# ブトカマベツ

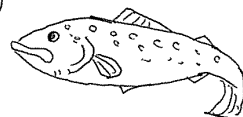
(ブト)

河口

平岩

(ポツ)

川

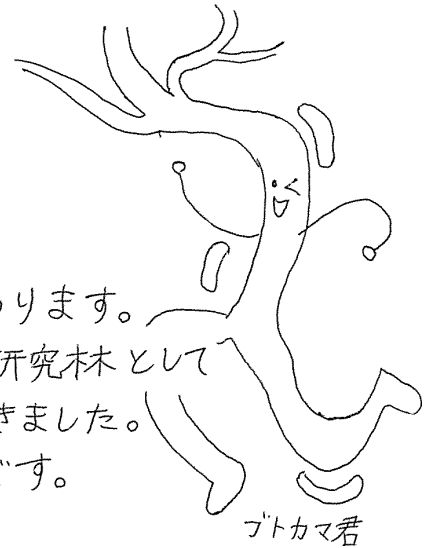


幌加内に流れる川「ブトカマベツ川」は「その川尻に平たい岩がある川」と解釈されます。そんなブトカマベツ川では現在「ブトカマベツ川氾濫原プロジェクトが行われています。

## 「ブトカマベツ川氾濫原プロジェクト」

幌加内町にある巨大な湖「朱鞠内湖」。

湖に注ぎ込む川の一つに「ブトカマベツ川」があります。  
ブトカマベツ川がある森は、北海道大学の研究林として  
120年以上原生林に近い形で管理・研究されてきました。  
豊かな自然が残された世界でも貴重な場所です。



ここには絶滅危惧種である幻の魚「イトウ」をはじめとした  
魚たち、鳥や虫、木々などたくさんの命が棲んでいます。

50年以上前、森の中での研究のために人や車が通ることの  
できる林道を整備した際にブトカマベツ川の本래の流氷を  
少し移動し、まっすぐな川になるよう手を加えました。

すると川は「元の流れに戻りたい」と氾濫するようになりました。  
自然の川は蛇行して流れ、氾濫を繰り返します。氾濫によって  
できた湿地帯や小さな池は、生物たちにとって命の楽園のような場所  
となり、その一帯は氾濫原と呼ばれます。氾濫原は森が豊かに  
生きている証しでもあります。

そこでブトカマベツ川を元々の蛇行した流れに戻そうというプロジェクト  
が立ちあがりました。そのまま蛇行させると林道が使用できなくな  
ってしまうため、近自然工法の木橋をかけて魚や動物などの生物だけ  
でなく、人にも優しい、世界に誇れる川をつくらう、というプロジェクトです。

現在(~9月28日まで)クラウドファンディングにて支援を募っています。  
豊かな自然を未来に残す活動に応援よろしくお願いします。

ブトカマベツ川 READYFOR で検索

架設作業  
しています

